

2010年9月16日

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

日経産業新聞にDACの取り組みが掲載されました

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:矢嶋弘毅)は、既存の広告分野だけではなく、海外からの新しい技術の導入にも力を入れており、実際の映像とCG(コンピューターグラフィックス)を重ねて表示する「拡張現実(AR)」技術をフランスから取り入れ、本年2月から国内販売を開始してまいりました。

この度、上記の技術をサッポログループ各社が恵比寿ガーデンプレイスにて主催する、「恵比寿麦酒際」に、提供することとなりました。AR技術により、約100年前の山手線が蘇ります。

本日、上記の取り組みが下記の通り、日経産業新聞に掲載されましたので、お知らせいたします。

【掲載】

2010年9月16日付 日経産業新聞 7面

『DAC 100年前の山手線“疾走” 東京・渋谷 ARでイベント』

詳細は、当社のコーポレートサイトに掲載しておりますリリースをご参照ください。  
([http://www.dac.co.jp/Contents/pdf/press/201009\\_impact.pdf](http://www.dac.co.jp/Contents/pdf/press/201009_impact.pdf))

以 上